

## 2022 年度 研究センター事業報告書

研究センター名	環太平洋文明研究センター
---------	--------------

**I. 研究成果の概要 (公開項目) ※1ページ以内にまとめること**

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこなってできるだけわかりやすく記述してください。

本センターは 2022 年度より第 4 期 R-GIRO に参画し、その拠点として活動を継続している。研究については 4 つのグループを組織し、レジリエントな社会や文化のデザインに貢献する新たな学際研究の構築をめざしている。

**1. 顕著な成果**

特に重要な成果として以下の 2 つが挙げられる。

- (1) 第 1 グループの中川毅らは、モンゴルで採取した湖底堆積物の理化学分析をもとに、白亜紀(約 1 億 2000 万年前)温暖な「温室」条件下において太陽活動の周期性が数十年から 100 年程度の「人間スケール」の気候変動に影響を与えていたことを明らかにした。これは中米で進めている太陽活動、気候変動、文明盛衰の関係分析に示唆を与えるとともに、温暖化が進む現在と将来の気候予測にも有益な知見である。この研究成果は『Scientific Reports』に掲載された。
- (2) 第 4 グループのシン・ジュヒョン(拠点研究員)が公益財団法人科学技術融合振興財団の第 16 回 FOST 新人賞を受賞した。シンは、小川が中心となって進めている災害レジリエンスの強化においてシリアゲームの活用を検討している。このたびの受賞は、「インパクトゲーム」という災害や紛争、食糧危機、難民などの社会課題を扱うシリアゲームが社会に普及する上での問題点を人文社会的に解き明かした研究が評価されたものである。

**2. 各グループの研究成果****(1) 第 1 グループ:「人間の時間スケール」で見た気候変動と災害およびインフラ技術の歴史**

数十年スケールの「暴れる気候」を解明するために、福井県水月湖とメキシコのサン・クラウディオ湖の年縞堆積物について花粉分析などを実施した。これにより、過去 3 万 5000~1 万 7000 年前の氷期にも気候が「暴れる」時代と「暴れない」時代があることが明らかになった。また、社会インフラの研究では古道と水分システムとの歴史に関する比較研究を進め、ペルー・リマ市と和歌山県の熊野古道の分析を行った。

**(2) 第 2 グループ:歴史的知見を生かした食リスク・災害リスク課題解決の提案**

遺物量からみた人口動態変化の考古学的研究と災害・気候変動の関係について確率分布を応用した分析を行い、京都盆地北東部の約 1 万年間の人口動態の推定を試みた。また、古書籍の紙にすき込まれた人びとの毛髪の炭素・窒素安定同位体などを実施し、江戸時代の食事の実態を解明する研究を進めた。一方、濃尾平野や、孤島である南大東島の調査をもとに自然環境と土地利用との関係を追跡した。

**(3) 第 3 グループ:食料危機と災害克服の現在—グローバル/ローカルな視座からのレジリエンスの再考**

グローバル・サプライチェーンの脆弱性に関する調査を実施し、生産効率性よりも安全保障及び地政学的リスクに基づく国内サプライチェーンの再構築が今後重要になることを見出した。また、冷害被害の多いモンゴルにおける零細牧畜経営と乳製品のローカル・サプライチェーンについて現地調査を行い、地方生産地と都市消費地との間の「距離」が、販売される乳製品の種類や取引量・頻度の違いを生んでいることを明らかにした。

**(4) 第 4 グループ:食糧危機・災害に対する人類の未来—文化情報のデザイン化とテクノロジー的解決の再検討**

企業における文化情報のリサーチ方法の現状分析を進め、考古学研究から構築されたレジリエンスモデルを応用した「アーキオロジカル・プロトタイプ」を提唱した。また、第 1、第 2 グループが進める資源や土地利用の変化やリスク回避の知恵に関する研究、第 3 グループによるグローバル・ローカルな連携や資源分配の仕組みの分析を組み込み、技術的な解決行動とマインドセットの関係性をモデル化し、地域の強み・弱みを加味したレジリエンス強化の方策を検討した。

## II. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2023年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、必ず若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位	
センター長	小川 さやか	先端総合学術研究科	教授	
運営委員	中川毅	総合科学技術研究機構	教授	
	ダニエル・サウセド	文学部	准教授	
	山田圭太郎	立命館グローバルイノベーション研究機構	助教	
	鎌谷かおる	食マネジメント学部	准教授	
	河角直美	文学部	准教授	
	高橋学	文学部	特任教授	
	矢野健一	文学部	教授	
	宮脇昇	政策科学部	教授	
	神松幸弘	立命館グローバルイノベーション研究機構	准教授	
	富田敬大	立命館グローバルイノベーション研究機構	准教授(6月まで)	
	中村大	立命館グローバルイノベーション研究機構	准教授	
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	北場育子	総合科学技術研究機構	准教授	
	保井智香子	食マネジメント学部	准教授	
	早川貴	食マネジメント学部	教授	
	岩田京子	先端総合学術研究科	助手	
	後藤智	経営学部	教授	
	シン・ジュヒョン	先端総合学術研究科他	非常勤講師	
学内の若手研究者	専門研究員 研究員 初任研究員	NOXON Corey Tyler	立命館グローバルイノベーション研究機構	専門研究員
		玉井良尚	立命館グローバルイノベーション研究機構	専門研究員
	補助研究員・リサーチアシスタント			
	大学院生	有馬恵子	先端総合学術研究科	博士2年
		福田浩久	先端総合学術研究科	博士3年
		費一桐	経営学研究科	博士2年
		山上亜紗美	政策科学研究科	博士4年
		吉村拓人	政策科学研究科	博士1年
		酒向溪一郎	先端総合学術研究科	博士3年

		坂本唯	先端総合学術研究科	博士 2 年
	学振特別研究員 (PD・RPD)			
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・ 博士前期課程院生等)				
客員協力研究員	尾関 清子	東海学園女子短期大学	名誉教授	
	小野 林太郎	国立民族学博物館・人類文明誌 研究部	准教授	
	中嶋 直樹	日本ラテンアメリカ学会	会員	
	北川 淳子	福井県年縞博物館	主任研究員	
	宮多良 ディスネル	関西大学	非常勤講師	
	近藤 宏	早稲田大学・教育学部複合文化 学科	助教	
	清水 昭	福島県立医科大学	特任教授	
	那須 浩郎	岡山理科大学・教育学部	准教授	
	魚津(東村) 純子	福井大学・国際地域学部	学部講師	
	藤木 利之	岡山理科大学・理学部基礎理学 科	准教授	
	福本 繁樹	金沢美術工芸大学	非常勤講師	
	真邊 彩	鹿児島県・教育庁文化財課指定 文化財係	文化財主事	
	福本 侑	大阪市立大学・大学院理学研究科	博士奨励研究員	
	森下 直紀	和光大学・経済経営学部経済学 科	准教授	
	山田 和芳	早稲田大学・人間科学学術院	教授	
	内尾 太一	静岡文化芸術大学・文化政策学 部	准教授	
	市木 尚利	姫路女学院中学校・高等学校	常勤講師	
	富田 敬大	神戸大学・国際文化学研究科	特命助教	
	稲垣 文昭	秋田大学・国際資源学研究科	教授	
	坂本 勇	東京修復保存センター	顧問	
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)	外山 秀一	皇學館大学・文学部	教授	
	高山 浩司	京都大学・理学研究科	准教授	
	森 勇一	東海シニア自然大学	講師	
	石田 智恵	早稲田大学・法学学術院	准教授	
	上峯 篤史	南山大学・人文学部	准教授	
	木村 啓章	大阪府・教育庁	技師	
	幡中 光輔	出雲市・文化財課	主事	
	中村 豊	徳島大学大学院・社会産業理工 学研究部	教授	
	遠部 慎	島根大学・法文学部	客員研究員	

	宮地 聡一郎	福岡県教育委員会	主査
	栞畑 光博	都城市教育委員会	主幹
	松森 智彦	同志社大学・人文科学研究所	所嘱託研究員
	菅原 大助	東北大学・災害科学国際研究所	准教授
	小野 映介	駒澤大学・文学部	教授
	桐村 喬	皇學館大学	准教授
	丸山 敦	龍谷大学	教授
研究所・センター構成員 計 63 名 (うち学内の若手研究者 計 9 名)			

### Ⅲ. 研究業績 (公開項目) ※ページ数の制限は無し ※to be published, の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2023年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	<u>鎌谷かおる</u>	近世人の水と土へのまなざしー湖岸村落を事例にー	共著	2022年4月	橋本道範編『自然・生業・自然観 琵琶湖の地域環境史』, 小さ子社		pp.257-268
2	<u>宮脇昇</u>	国境の問い	共著	2022年5月	浦部浩之編『国境の時代』, 大学教育出版	樋口恵佳,	
3	<u>Saucedo</u> <u>Segami, D.</u>	La Presencia de los Japoneses en el Perú: Una Aproximación Desde la Arqueología Subalterna	共著	2022年6月	Instituto Peruano de Estudios Arqueológicos ”, Instituto Peruano de Estudios Arqueológicos		pp.221-240
4	<u>宮脇昇</u>	資源地政学からみたユーラシア	共著	2022年7月	渡邊啓貴(監修) 公益財団法人日本国際フォーラム(編)『ユーラシアダイナミズムと日本』, 中央公論新社		pp.357-376
5	<u>小川さやか</u>	ともに歩けば	共著	2022年8月	日本文藝家協会編『ベストエッセイ』, 光村図書出版		pp.180-183
6	<u>小川さやか</u>	人間性なるものへの問い	共著	2022年9月	『絶版本』, 柏書房	ほか24名	pp.58-64
7	<u>小川さやか</u>	第2部/パート1 社会を生きる02 なぜ人はあいまいさを嫌うのかーコントロールしたい欲望を解き放つ(小川さやか×美馬達哉)	共著	2022年9月	立命館大学教養教育センター編『自由に生きるための知性とはなにか』, 晶文社		pp.147-175
8	<u>Takahiro</u> <u>Tomita</u>	Considering Human-Environmental Relations in Modern Mongolia	共著	2022年10月	Г. Мөнх-эрдэнэ, Ариэл Ахэрн (eds) 『Нийгмийн ухааны чанарын судалгаа』, МУИС Пресс		pp.98~100

9	玉井良尚	「沖縄の水資源開発と非知覚的ディール」	共著	2022年10月	『談合と民主主義:公共空間におけるディール』, 志學社		pp.176~194
10	小川さやか	「人間性なるものへの問い」	共著	2022年10月	『絶版本』(柏書房編集部編), 柏書房		pp.57~64
11	西尾善太	『ジープニーに描かれる生:フィリピン社会にみる個とつながりの力』	単著	2022年11月	風響社		58p
12	中村大	「圏論を応用した土器の実体化過程モデル構築の試み」	単著	2022年11月	今福利恵博士追悼論文集刊行委員会編『モノ・構造・社会の考古学—今福利恵博士追悼論文集—』, 今福利恵博士追悼論文集刊行委員会		pp.97~104
13	小川さやか	「EthnographyPrototyping」	共著	2022年11月	Sustainable Innovation Lab 編『Sustainable Innovation Lab Annual Report 2021』, Next Commons Lab		pp.28~29
14	小川さやか	「小川さやか」『失われた雑誌を求めて』	共著	2022年12月	タバブックス		pp.21
15	小川さやか	「第3章—誰も置き去りにしない社会を築く「多様な人との関係性が人生を強く豊かにする」	共著	2023年1月	『危機の時代を生きる3』(聖教新聞報道局編), 潮出版社		pp.195~206
16	玉井良尚	ウクライナ侵攻と『水の武器化』	共著	2023年2月	『ウクライナ侵攻はなぜ起きたのか:国際政治学の視点から』, 早稲田大学出版部		pp.185~213
17	宮脇昇	「ウクライナ戦争と冷戦 ver.2.0」	共著	2023年2月	『ウクライナ侵攻はなぜ起きたのか:国際政治学の視点から』, 早稲田大学出版部		pp.17~60
18	山上亜紗美	「EUの対ロシア・ベラルーシ制裁の動向と展望」	共著	2023年2月	『ウクライナ侵攻はなぜ起きたのか:国際政治学の視点から』, 早稲田大学出版部		pp.123-145
19	小川さやか	「東浩紀×小川さやかセッション」	共著	2023年2月	『2035年の世界地図——失われる民主主義 破裂する資本主義』朝日選書, 朝日新聞社	東浩紀他(7名)	pp.196~243
20	森下直紀	「生物多様性の思想」	共著	2023年3月	環境社会学会編『環境社会学辞典』, 丸善出版		pp.742
21	内尾太一	58. 災害と復興 東日本大震災後の被災地の人びととどのように暮らしてきたのだろうか	共著	2023年3月	『フィールドから地球を学ぶ:地理授業のための60のエピソード』, 古今書院		pp.122~123
22	小川さやか	「役に立つ呪術・妖術」	共著	2023年3月	木谷百花編『旅するモヤモヤ相談室』, 世界思想社		

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	<u>Takeshi Nakagawa</u> , Ikuko Kiataba, Keitaro Yamada, <u>Junko Kitagawa</u> ,	Intermittent non-axial dipolar-field dominance of twin Laschamp excursions, “ Communications Earth & Environment	共著	2022年4月	『 Communications Earth & Environment』 volume 3	Masayuki Hyodo,Suigetsu 2014 Projectほか12名	オンライン	有
2	<u>小川さやか</u>	贈与と失敗がつくる社会	単著	2022年4月	ゲンロンβ 72		pp.4-23	
3	<u>Nakagawa, T.</u>	How reliable is $\mu$ XRF core scanning at detecting tephra layers in sedimentary records? A case study using the Lake Suigetsu archive (central Japan)	共著	2022年5月	Journal of Quaternary Science	McLean, D., Albert, P.G., Scholaut, G.他6名	pp.1-18	
4	<u>小川さやか</u>	国境を越える草の根の営み	単著	2022年5月	『中央公論』, 中央公論新社		pp.14-15	
5	<u>中村大</u>	縄文時代の儀礼祭祀研究と文明レジリエンスモデル」	単著	2022年5月	日本考古学協会第88回総会研究発表要旨		p.91	
6	<u>Zenta Nishio</u>	Book Review Ethnographies of Development and Globalization in the Philippines: Emergent Socialities and the Governing of Precarity. Edited by Koki Seki, 2020. UK: Routledge.	単著	2022年6月	Japanese Review of Cultural Anthropology 22(2)		pp.7-17	
7	<u>山本睦</u>	ペルー共和国カハマルカ州インガタンボ遺跡:アンデス形成期のフロンティアから文明の形成過程をさぐる	単著	2022年6月	考古学研究第273号		pp.81-83	
8	<u>小川さやか</u>	カッコよさの多様性	単著	2022年6月	『中央公論』, 中央公論新社		pp.18-19	

9	<u>小川さやか</u>	街の気分と思考 見知らぬ地で得る 安心感	单著	2022 年 7 月	『新潮』8 月号		pp.240-243	
10	<u>Takeshi Nakagawa</u>	Controls on luminescence signals in lake sediment cores: A study from Lake Suigetsu, Japan	共著	2022 年 8 月	Quaternary Geochronology Vol. 71	Rex, C.L., 他 7 名	オンライン	
11	<u>小川さやか</u>	政党マッチングと経 済倫理	单著	2022 年 8 月	中央公論		pp.14~15,	
12	<u>小川さやか</u>	警察権力が機能不 全な社会	单著	2022 年 8 月	朝日新聞出版『一冊 の本』		pp.14-15	
13	<u>斎藤賢爾</u>	web3 は金融なのか	单著	2022 年 8 月	『SBI 金融経済研究所 所報』, SBI 金融経済 研究所株式会社, vol.2		pp.29-37	
14	<u>斎藤賢爾</u>	希少性と排除にもと づくデジタル所有 権 VS メタバース	单著	2022 年 8 月	『現代思想』, 青土 社, 2022 年 9 月号		pp.115-124	
15	<u>有馬恵子</u>	特集趣旨: 災害/ 緊急事態とアート —東日本大震災か ら 10 年を経て	单著	2022 年 8 月	『立命館生存学研究』, 立命館大学生 存学研究センター, vol.6		pp.5-7	
16	<u>有馬恵子</u> , 大友良英, 藤井光,他 4 名	第 3 部全体討論	单著	2022 年 8 月	『立命館生存学研究』, 立命館大学生 存学研究センター, vol.6		pp.35-42	
17	<u>有馬恵子</u>	まちのにぎわいを 考える	单著	2022 年 8 月	『アルケバボウ』,クラ シエホームプロダク ツ販売株式会社, 創 刊号 1		p.26	
18	<u>小川さやか</u>	仲間を悪者にしな い知恵	单著	2022 年 9 月	『一冊の本』, 朝日新 聞出版, 2022 年 9 月 号		pp.10-18	
19	<u>小川さやか</u>	「なぜ人は人を助 けるのか」の人類学 無条件の条件 第 5 回 他者に与え て、生の痕跡を残 す」	单著	2022 年 10 月	『一冊の本』, 朝日新 聞出版, vol.27no.11		pp.25~33	無
20	<u>小川さやか</u>	新型コロナで花開 くギグ・エコミー」	单著	2022 年 10 月	『中央公論』, 中央公 論新社, 136 卷 12 号		pp.14~15	無
21	<u>小川さやか</u>	増える遭難、登山 の魅力」	单著	2022 年 11	『中央公論』, 中央公 論新社, 136 卷 11 号		pp.14~15	無

				月				
22	<u>Takeshi Nakagawa</u>	Decadal - centennial-scale solar-linked climate variations and millennial-scale internal oscillations during the Early Cretaceous”	共著	2022年12月	”Scientific Reports”, Nature Portfolio12(1)	H. Hasegawa 他 19 名		有
23	<u>山田圭太郎</u>	別府湾堆積物の花粉および微粒炭分析に基づく後期完新世における照葉樹林の衰退過程」	共著	2022年12月	『植生史研究』, 日本植生史学会第32巻1号,	嶋田美咲 他 6 名	pp.15~25	有
24	<u>松本雄一</u>	「ペルー南海岸、インヘニオ河谷中流域の遺跡群に関する編年的考察」	共著	2022年12月	『古代アメリカ』, 古代アメリカ学会 25 号	ホルヘ・オラーノ 他 1 名	, pp.41~52	有
25	<u>Keitaro Yamada</u>	Beppu Bay, Japan, as a candidate Global Boundaries Stratotype Section and Point for an Anthropocene series	共著	2022年12月	“ The Anthropocene Review”, SAGE	M. Kuwae 他 38 名	pp.1~38	有
26	<u>Yukihiro Kohmatsu</u>	Interspecific interactions between coexisting Siberian and Ezo salamander larvae examined by stable isotope analyses	共著	2022年12月	Limnology	Shigeharu Terui 他 2 名	pp.1~9	有
27	<u>小川さやか</u>	「なぜ人は人を助けるのか」の人類学無条件の条件 第6回タンザニア商人が教えてくれた現の抜きし方」	単著	2022年12月	『一冊の本』, 朝日新聞出版, vol.28no.1,		pp.23~31	
28	<u>小川さやか</u>	「街の気分と思考「喧騒から抜け出すために」」	単著	2022年12月	『新潮』, 119 巻 12 号, 新潮社		pp.208~211	
29	<u>小川さやか</u>	「なぜ人は人を助けるのか」の人類学無条件の条件 第7回「相手の逃げ道を残す」というスト	単著	2023年1月	『一冊の本』, 朝日新聞出版, vol.28no.1		pp.22~30	無



		リートの流儀」						
30	<u>小川さやか</u>	「なぜ人は人を助けるのか」の人類学無条件の条件 第8回 情報化時代の武器になる、タンザニア商人のパーソナルなネットワーク」	单著	2023年1月	『一冊の本』, 朝日新聞出版, vol.28no.2		pp.51～59	無
31	<u>中川毅</u>	「水月湖年縞堆積物の花粉分析と精密対比によって復元された、晩氷期から完新世初期にかけての気候変動の時空間構造 — その古気候学のおよび考古学的意義 —」	单著	2023年2月	『第四期研究』, 日本第四期学会62巻1号		pp.1～31	有
32	<u>小川さやか</u>	「シカモー」	单著	2023年2月	『公研』, 公益産業研究調査会, No.714		pp.14～15	無
33	<u>内尾太一</u>	「持続可能な養殖漁業の継続要因に関する人類学的探求—宮城県南三陸町におけるカキ養殖のASC認証取得を事例に—」	单著	2023年3月	『環太平洋文明研究』, 立命館大学環太平洋文明研究センター・雄山閣 第7号		pp.1～19	有
34	<u>高橋学</u>	「歴史時代における地形環境の変化と土地開発」	单著	2023年3月	『環太平洋文明研究』, 立命館大学環太平洋文明研究センター・雄山閣 第7号		pp.20～33	無
35	<u>河角直美</u>	「南大東島の企業城下町「在所」の景観復原」	共著	2023年3月	『環太平洋文明研究』, 立命館大学環太平洋文明研究センター・雄山閣 第7号	加藤政洋	pp.34～49	無
36	<u>矢野健一</u> , <u>ノックソン・コーリー・タラー</u>	「土器量からみた北白川縄文遺跡群の人口動態に関する予察」	单著	2023年3月	『環太平洋文明研究』, 立命館大学環太平洋文明研究センター・雄山閣 第7号		pp.66～77	無
37	<u>矢野健一</u>	「辰馬考古資料館所蔵の土偶・土製品・石製品」	共著	2023年3月	『辰馬考古資料館考古学研究紀要』, 7	林亮太他4名	pp.1～61	無
38	<u>宮脇昇</u>	「ウクライナ侵攻後のエネルギー安全保障」	单著	2023年3月	『国際安全保障』, 国際安全保障学会, 50巻4号		pp.1～16	無

39	<u>小川さやか</u>	「なぜ人は人を助けるのか」の人類学無条件の条件 第9回 人生という旅の豊かな人間関係」	単著	2023年3月	『一冊の本』, 朝日新聞出版, vol.29no.1		pp.42~49	無
40	<u>中村大, 後藤智</u>	デザインにおける考古学のレジリエンスモデル—アーキオロジカル・プロトタイピングの可能性—」	共著	2023年3月	『デザイン科学研究』, デザイン科学研究センター, Vol.2		pp.77~103	無
41	<u>中村大</u>	「圏論を応用した社会レジリエンスモデルの構築について」	単著	2023年3月	『環太平洋文明研究』, 環太平洋文明研究センター・雄山閣, 第7号		pp.50~65	無
42	<u>小川さやか</u>	「環太平洋文明研究センターのこれから—災害・食糧危機に強い、レジリエンスがある社会の創造を目指して—」	単著	2023年3月	『環太平洋文明研究』, 環太平洋文明研究センター・雄山閣, 第7号		pp.78~82	無
43	<u>小川さやか</u>	Society5.0と中途半端なスマートさ	単著	2022年7月号	『中央公論』, 中央公論新社		pp.22-23	
44	<u>小川さやか</u>	あるべきものが存在しない社会	単著	2022年7月号	朝日新聞出版『一冊の本』		pp.22-23	
45	<u>小川さやか</u>	2030年のコミュニケーションに必要なこと	単著	2022年8月号	『建築と社会』, 日本建築協会		pp.28-29	
46	<u>保井智香子</u>	男子大学生の食事における実態と意識についての居住形態別比較	共著	2022年	日本家政学会誌, 73	石田由美子、本田智巳	Pp705-714	

### 3. 研究発表等

No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	<u>Atsushi YAMAMOTO</u>	Migration, Empire, and Cultural Disruption in the Ceja de Selva of Northern Peru	2022年4月	87th Annual Meeting, Society for American Archaeology, Chicago, United States of America・TBA	CLASBY, Ryan,
2	<u>Atsushi YAMAMOTO,</u>	Centering the Ceja de Selva: Reexamining the Idea of the Eastern Andes	2022年4月	87th Annual Meeting, Society for American Archaeology, Chicago, United States of America・TBA	CLASBY, Ryan

		as a Cultural Frontier			
3	<u>Zenta Nishio</u>	Book review meeting of Carlos Pocos' s "Affect, Narratives and Politics of Southeast Asian Migration" Routledge, 2021 (171 pages)	2022年4月	1st Meeting of the Research Group on Coloniality and Social Existence, Coloniality and Social Existence, 京都大学・京都市左京区	
4	<u>中川毅</u>	古気候学が照らす未来	2022年4月	関西経済連合会総会, 大阪市北区・中之島センタービル	
5	<u>小川さやか</u> ,	人類学はビジネスに役に立つ! ? 『エスノグラフィ・プロトタイプング』の可能性を探る	2022年4月	株式会社ゲンロン『ゲンロンカフェ』, 東京都品川区・ゲンロンカフェ	比嘉夏子
6	<u>小川さやか</u>	いかにして人は研究者になるか	2022年4月	2022年研究部募集会, 学校法人角川ドワンゴ学園, 東京都中央区・ドワンゴビル	
7	<u>Daniel Dante Saucedo Segami</u>	「Análisis de las expresiones "patrimonio / bien(es) + adjetivo" sobre los restos arqueológicos en Perú」	2022年5月	日本・スペイン・ラテンアメリカ学会 (CANELA), 第34回大会, 東京都新宿区・早稲田大学, オンライン開催	Makiho Maruoka
8	<u>鎌谷かおる</u> ,	日本史研究における古気候データとしての古文書活用の可能性	2022年5月	日本地球惑星科学連合, 日本地球惑星科学連合 2022 大会, 幕張メッセ・千葉市美浜区	佐野雅規
9	<u>内尾太一</u>	西日本豪雨のデジタルパブリックヒストリー: Google Maps のレビューデータに基づく災害復興過程の可視化と分析	2022年5月	日本平和学会, 2022年春季研究大会, 東京農業大学北海道オホーツクキャンパス・北海道網走市	
10	<u>玉井良尚</u>	軍都と制水権: 軍事拠点の水道インフラ整備過程を中心に	2022年5月	グローバル・ガバナンス学会, 第14回研究会, オンライン開催	
11	<u>富田敬大</u>	社会主義モンゴルにおける寒雪害(ゾド)の影響と対応	2022年5月	日本モンゴル学会, 2022年度春季大会, 昭和女子大学・東京都世田谷区	
12	<u>中村大</u>	縄文時代の儀礼祭祀研究と文明レジリエンスモデル	2022年5月	日本考古学協会, 日本考古学協会第88回総会, 早稲田大学・東京都新宿区, オンライン開催	
13	<u>中川毅</u>	暴れる気候と暴れない気候	2022年5月	日本皮膚科学会, オンライン開催	
14	<u>宮脇昇</u>	ウクライナ戦争と人権	2022年5月	京都府私立中学高等学校人権教育研究会, 京都市下京区・京都私学会館	
15	<u>斎藤賢爾</u>	NFT (非代替性トークン) のリアリティ	2022年5月	自律分散社会フォーラム第46回フォーラム, 自律分散社会フォーラム・東京都杉並区, オンライン開催	

16	<u>小川さやか</u>	Decentralized identity と食 ～分人は何を食べる？	2022 年 5 月	『WIRED』日本版×シグマックス『フ ードイノベーションの未来』, オンライン 開催	
17	<u>ふくだぺろ(福 田浩久)</u>	音—イメージ・ダイアロー グが架構する人類学的フ ィールド 映像往復書簡と マルチモーダルな学知	2022 年 6 月	日本文化人類学会, 日本文化人類 学会第 56 回研究大会, 明治大学・東 京都千代田区	
18	<u>Pero Hirohisa</u> <u>Fukuda</u>	Batwa Emotions	2022 年 6 月	International Society for Hunter- Gatherer Research, CHAGS (Conference on Hunting and Gathering Societies)13, Dublin, University College Dublin ・Ireland	
19	<u>玉井良尚</u>	海上封鎖とランドパワー: ウクライナ戦争からの考察	2022 年 6 月	シンポジウム『ウクライナ戦争と経済 制裁』, オンライン開催	
20	<u>中村大</u>	考古学×アート+数学: 意外な接続で新たな展望 を拓く	2022 年 6 月	ライスボールセミナー, 北海道江別 市・立命館慶祥中学・高等学校	
21	<u>Oki Nakamura</u>	Changes in landmarks and mobile routes on the Mongolian plateau from the Bronze Age to the Xiongnu period	2022 年 6・7 月	Society for East Asian Archaeology, Ninth Worldwide Conference of the Society for East Asian Archaeology, Daegu, South Kyungpook National University・Korea	
22	<u>Oki Nakamura</u>	Demographic Shifts and Emergence of Ritual Landscapes during the Jomon Period in Northern Japan, 6000 to 2500 cal BP	2022 年 7 月	The World Archaeological Congress, The Nineth World Archaeological Congress, Cubex Centre Prague・ Prague, Czech Republic	
23	<u>NOXON,</u> <u>Corey Tyler,</u> <u>Kenichi YANO</u>	Uncovering Kyoto University: utilizing past reports to track occupational density over 10,000 years	2022 年 7 月	同上	
24	<u>Daniel Dante</u> <u>SAUCEDO</u> <u>SEGAMI</u>	Making the Past Public: Challenges and Possibilities for Archaeological Collections	2022 年 7 月	同上	MAMANI ESCOBAR, Stefani,
25	Daniel Dante Saucedo Segami,	By defining Cultural Heritage through its use by modern population in Lima city (Peru)	2022 年 7 月	同上	Yuji Seki
26	<u>Pero Hirohisa</u> <u>Fukuda</u>	Musicking Actualities, Realities: Imaging and Meaning with Batwa People of Central Africa	2022 年 7 月	European Association of Social Anthropologists, European Association of Social Anthropologists (EASA) 2022, Queens University Belfast・Belfast, United Kingdom	
27	<u>保井智香子,</u>	高校生硬式野球部のトレ	2022 年 7 月	日本健康教育学会, 第 30 回日本健	上田由喜子, 小林知未

		ーニング期における自己決定を促す栄養サポートの効果		康教育学会学術大会, 獨協医科大学・栃木県壬生町	
28	<u>小川さやか</u>	人類史的にみた災害・食糧危機に対するレジリエンス強化のための学際的研究拠点	2022年7月	第4期R-GIRO研究プログラム4プロジェクト合同シンポジウム「技術と人間の調和を超学際的に考える」, 立命館大学びわこ・くさつキャンパス・滋賀県草津市	
29	<u>中川毅</u>	年縞博物館:サイエンスとデザインとストーリーの力	2022年7月	日本博物館館長会議, オンライン開催	
30	<u>中川毅</u>	暴れる気候と暴れない気候	2022年7月	第17回滋賀サイエンスカフェ, 大津市生涯学習センター・滋賀県大津市	
31	<u>宮脇昇</u>	資源地政学とユーラシア	2022年7月	出版記念シンポジウム『ユーラシア・ダイナミズムと日本』, オンライン開催	
32	<u>中村大</u>	最新の考古学から読み解く「持続可能な社会」	2022年7月	立命館大学オンラインセミナー【SDGsを考える】, 京都市中京区・立命館大学朱雀キャンパス	
33	<u>斎藤賢爾</u>	#1 技術概論 - 全体像を90分で掴む	2022年7月	ブロックチェーン基盤技術セミナー, 東京都中央区・ブロックチェーンハブ(オンライン)	
34	<u>斎藤賢爾</u>	#2 ビットコインの技術 - 暗号資産の原型を知る	2022年7月	ブロックチェーン基盤技術セミナー, 東京都中央区・ブロックチェーンハブ(オンライン)	
35	<u>小川さやか</u>	その暮らしの生き方から考えるビジネスと人類学の未来	2022年7月	時事トップセミナー, 英国・ロンドン	
36	<u>小川さやか</u>	『人間の経済』から考えるビジネスと人類学の未来	2022年7月	西園寺塾, 東京都千代田区・サピアタワー立命館大学東京キャンパス	
37	<u>斎藤賢爾</u>	#3 イーサリアムの技術 - ブロックチェーンの応用基盤	2022年7月	ブロックチェーン基盤技術セミナー, 東京都中央区・ブロックチェーンハブ(オンライン)	
38	<u>NOXON, Corey Tyler,</u>	Computer and Quantitative Applications in Archaeology (CAA)	2022年8月	Oxford・United Kingdom	
39	<u>保井智香子,</u>	大学女子陸上競技選手の競技パフォーマンス, 栄養素等摂取量と月経前症候群との関連	2022年8月	日本スポーツ栄養学会, 日本スポーツ栄養学会第8回大会, 相模女子大学・神奈川県相模原市	西村寧々花, 石田由美子, 本田智巳ほか
40	<u>中川毅</u>	僕たちはたくさんの孔を掘ってきた	2022年8月	福井県年縞博物館シンポジウム, 福井県年縞博物館・福井県若狭町	
41	<u>Takahiro Tomita</u>	Considering human-environmental relations in the Anthropocene: a case of modern Mongolia	2022年8月	NUM-Oxford Social Science Research Training Summer School, National University of Mongolia Library, Ulaanbaatar・Mongolia	

42	<u>小川さやか</u>	DAY2 社会システム編	2022年8月	FabCafeKyoto『We Launch Event わたしたちの生存戦略』, オンライン開催	宮台真司, 伊藤穰一
43	<u>Juhyung Shin</u>	A study on promoting cross-cultural understanding among elementary school students through digital game-based learning using Minecraft	2022年8月	立命館大学ゲーム研究センター, 第10回国際日本ゲーム研究カンファレンス-Replaying Japan 2022, ホテルアンテルーム京都・京都市南区, オンライン開催	Mitsuyuki Inaba
44	<u>シン ジュヒョ</u>	他人・モノ・デジタル化・感情における考察	2022年8月	文化社会研究所定例セミナー, オンライン開催	
45	<u>シン ジュヒョ</u>	우리들의 초록돌『絵本: 우리들의 초록돌』ソジョンチョル編	2022年8月	ブッククル社, オンライン開催	
46	<u>斎藤賢爾</u>	#4 スマートコントラクト - トークンの設計からシェアリングエコノミーまで	2022年8月	ブロックチェーン基盤技術セミナー, 東京都中央区・ブロックチェーンハブ, オンライン開催	
47	<u>斎藤賢爾</u>	#5 ハイパーレジャーとその他の分散台帳技術 - ビジネス応用基盤をマルッと理解	2022年8月	ブロックチェーン基盤技術セミナー, 東京都中央区・ブロックチェーンハブ, オンライン開催	
48	<u>斎藤賢爾</u>	#6 ビヨンドブロックチェーン基礎 - ブロックチェーンの課題を乗り越える	2022年8月	ブロックチェーン基盤技術セミナー, 東京都中央区・ブロックチェーンハブ, オンライン開催	
49	<u>斎藤賢爾</u>	#7 ビヨンドブロックチェーン応用 - 限界を超えたとき, 初めて見えるものがある	2022年9月	ブロックチェーン基盤技術セミナー, 東京都中央区・ブロックチェーンハブ, オンライン開催	
50	<u>中村大</u>	古くて新しい縄文芸術	2022年9月	一般社団法人芸術文化継承機構 日本美再発見セミナー, 東京都中央区・TS ギャラリー	
51	<u>小川さやか</u>	タンザニア零細商人による人間多様化戦略—人類学からみたビジネスの未来	2022年9月	大垣共立銀行共栄会, 岐阜県各務原市・各務原市産業文化センター	
52	<u>小川さやか</u>	人類学的エスノグラフィの方法	2022年9月	「ありふれた臨床」研究会オープンセミナー, 東京都港区・TKP 品川カンファレンスセンター	
53	<u>小川さやか</u>	タンザニア商人の商実践からみたビジネスの未来	2022年9月	株式会社不識庵「新 青天白雲塾」, 東京都千代田区・サピアタワー	
54	<u>中村大</u>	住み続けられるまちづくり～文化遺産を今につなげると心が豊かになる～	2022年9月	ライスボールセミナー, 佐賀県基山町・東明館中学校・高等学校	
55	<u>シン ジュヒョ</u>	基調講演: デジタルゲーム研究による博士号取得のすゝめ	2022年9月	日本デジタルゲーム学会夏季研究大会, オンライン開催	栗飯原萌

56	<u>Noboru Miyawaki</u>	Connectivity and Resource Politics after Ukraine	2022年10月	MINASS Research Meeting , Ulaanbaatar・in MINASS office	
57	<u>NISHIO Zenta</u>	Trouble and Travel with Jeepney: Thinking about ways to learn attitudes for decolonial	2022年10月	Closed Seminar on Decolonial Knowledge with Syed Farid Alatas, 京都市左京区・京都大学	
58	<u>富田敬大</u>	現代モンゴルにおける牧畜経営ー乳製品のローカル・サプライチェーンを中心に	2022年10月	第4期R-GIRO研究プログラム第3グループ, 第3回研究会, オンライン開催	
59	<u>小川さやか</u>	市場として路上空間を自分たちの場所に転換するータンザニアの事例からー	2022年10月	日本建築学会, 建築夜楽校2022:シンポジウム「道/街路/ストリートについてー日本の街路に公共性はあるか?」, オンライン開催	
60	<u>小川さやか</u>	世界の知が読み解くコロナ後の時代	2022年10月	朝日新聞社, 朝日地球会議 2022/知の巨人たちと読み解く世界, 東京都千代田区・有楽町朝日ホール	
61	<u>小川さやか</u>	「SF 的想像力」が描き出す、(わたし)のデジタルツインによる未来	2022年10月	WIRED CONFERENCE 2022 / 「SCI-FI PROTOTYPING」/地球・社会・個人間の調和的な関係が築かれる未来社会の実現に向けてーデジタルツインコンピューティングの4つの挑戦ー, WIRED Japan, 東京都渋谷区・Shibuya Dragon Gate	
62	<u>西尾善太</u>	コンヴィヴィアル・インフラストラクチャー : グローバルサウス都市における共生と自立の様態	2022年10月	白山人類学研究会, 2022年度第5回白山人類学研究会, 東京都文京区・東洋大学(オンライン開催)	
63	<u>Atsushi Yamamoto</u>	El Horizonte corrugado y las migraciones Pre-Colombinas tardías en la Amazonia Superior. Últimos avances en la arqueología y etnohistoria de la alta Amazonia: un enfoque regional	2022年11月	V Encuentro Internacional de Arqueología Amazónica , Peru • Universidad Nacional Mayor de San Marcos	Ryan Clasby
64	<u>NISHIO Zenta</u>	Thinking for Convivial Infrastructure: A Case Study of Jeepney in Metro Manila	2022年11月	AY2022 The 6th Lifelong Sciences/MNGD Research Seminar, Challenges and Prospects of Contemporary Paratransit: Mobility, Daily Survival, and Urban Politics in Asia and Africa, オンライン開催	
65	<u>NISHIO Zenta</u>	Rethinking Intimacy during 2010s in the Philippines	2022年11月	Philippine Studies Conference in Japan (PSCI), The 5th Philippine Studies Conference in Japan, 東京都目黒区・東京大学駒場キャンパス	

66	<u>松本雄一</u>	ペルーにおける学校博物館企画の一事例	2022年11月	古代アメリカ学会. 第15回・第12回 合同研究懇談会, オンライン開催	ユリ・カベロ・パロミノ
67	<u>鎌谷かおる</u>	食材と調味料の地域性を考える『日本の食生活全集』を用いた 食材・調味料データベースの活用	2022年11月	一般社団法人日本家政学会食文化研究部会, 第34回研究大会, オンライン開催	上田朋佳 他3名
68	<u>宮脇昇</u>	冷戦 Ver.2.0 とウクライナ戦争	2022年11月	グローバル・ガバナンス学会, 第15回研究大会, 名古屋市昭和区・中京大学	
69	<u>山上亜紗美</u>	ウクライナ侵攻以前の対ロシア・ベラルーシ制裁ーEUの制裁は何をもたらしたのかー	2022年11月	グローバル・ガバナンス学会, 第15回研究大会, 名古屋市昭和区・中京大学	
70	<u>小川さやか</u>	コラボレーションの未来ー「出会いのデータベース」を構築した先に待ち受けているもの	2022年11月	第8回 SF プロトタイプینگ, WIRED Sci-Fi プロトタイプینگ研究所, 東京都港区・Sansan オフィス 青山	
71	<u>斎藤賢爾</u>	プラットフォームとしてのメタバースがもたらす価値	2022年11月	JAPAN Blockchain Conference , Blockchain Provenance Symposium 2022 Japan Session, 東京都千代田区・東京国際フォーラム	
72	<u>斎藤賢爾</u>	Web3 は金融なのか	2022年11月	SBI 金融経済研究所, FinTech 研究会, 東京都港区・SBI 金融経済研究所	
73	<u>Noboru Miyawaki</u>	Судалганы семинарын сэдэв: УКРАЙН-Ы ДАРААХ ЯПОНЫ УЛС ТӨР	2022年12月	МУИС-ийн ШУС Ази судлалын тэнхим Япон судлаач, Хаана: МУИС	
74	<u>松本雄一</u>	ペルー南海岸、トレス・パロス I・II 遺跡発掘調査速報	2022年12月	古代アメリカ学会, 第27回研究大会, 名古屋市千種区・名古屋大学	ホルヘ・オラーノ, 坂井正人
75	<u>山本睦</u>	ペルー北部ハエン地方におけるLiDAR測量	2022年12月	古代アメリカ学会, 第27回研究大会, 名古屋市千種区・名古屋大学	大谷博則 他4名
76	<u>内尾太一</u>	震災遺構のデジタル人類学的探索: 悲劇の痕跡として、復興の原動力として	2022年12月	東アジア人類学研究会, 第8回研究大会, 流山市・江戸川大学	
77	<u>サウセド・セガミ・ダニエル・ダンテ</u>	連結する文化遺産: ペルー都市部における先史時代の道と水路をめぐる問題とその可能性	2022年12月	古代アメリカ学会, 第27回研究大会, 名古屋市千種区・名古屋大学	
78	<u>Noboru Miyawaki</u>	Many ways for Russia's neighboring countries along its rim to approach or keep distance from Russia	2023年1月	International Workshop " Along Russia's Rim オンライン開催	



79	<u>松本雄一</u> , <u>山本睦</u>	景観考古学・人類学研究 会に関する活動報告	2023年1月	出ユーラシアの統合的人類史学-文 明創出メカニズムの解明, 第8回 全体会議, オンライン・ポスター発表	河合洋尚
80	<u>松本雄一</u>	ペルー中央高地、カンパ ナユック・ルミ遺跡におけ る三次元測量 –高精度 測量データとその活用に 向けての予備的考察–	2023年1月	出ユーラシアの総合人類学:文明創 出メカニズムの解明, 第8回全体会 議, オンライン・ポスター発表	大谷博則, ユリ・カペロ・パロミーノ
81	<u>山本睦</u>	ペルー北部熱帯低地に おける踏査と測量– LiDAR、UAV、GNSS–	2023年1月	出ユーラシアの統合的人類史学-文 明創出メカニズムの解明-, 第8回 全体会議, オンライン・ポスター発表	大谷博則, 鶴見英成
82	<u>小川さやか</u>	自らの系譜を打ち立てる –アジアとアフリカの間の SNS を介した交易を事 例に–	2023年1月	東ユーラシア研究プロジェクト 2022 年度全体集会, 人間文化研究機 構, 東京都千代田区・アルカディア 市ヶ谷	
83	<u>玉井良尚</u>	ウクライナ戦争における 『水の武器化』と政治責任	2023年2月	日本公共政策学会関西支部, 第74 回例会, オンライン開催	
84	<u>富田敬大</u>	趣旨説明	2023年2月	人間文化研究機構グローバル地域 研究推進事業 東ユーラシア研究プ ロジェクト神戸大学国際文化学研究 推進インスティテュート(Promis)拠 点, ワークショップ「現代モンゴルに おける都市=草原関係の変容とウェ ルビーイング」, 神戸市灘区・神戸 大学	
85	<u>富田敬大</u>	都市近郊の零細酪農生 産の特徴と持続可能性	2023年2月	人間文化研究機構グローバル地域 研究推進事業 東ユーラシア研究プ ロジェクト神戸大学国際文化学研究 推進インスティテュート(Promis)拠 点, ワークショップ「現代モンゴルに おける都市=草原関係の変容とウェ ルビーイング」, 神戸市灘区・神戸 大学	
86	<u>保井智香子</u>	朝食欠食と精神的健康と の関連～内田クレペリン 検査を用いた検討～	2023年3月	内田クレペリン精神検査研究会, 第 12回内田クレペリン精神検査研究 会, 東京都千代田区・精神技術研究 所	小林真帆, 船越正康
87	<u>矢野健一</u>	三内丸山遺跡における枝 回転文土器の調査と土器 製作季節の推定	2023年3月	三内丸山遺跡センター, 令和4年度 特別史跡三内丸山遺跡報告会, 青 森市・三内丸山遺跡センター	
88	<u>Takahiro</u> <u>Tomita</u>	Reconstruction of pastoral management and local milk supply in suburban areas	2023年3月	6th Oxford Interdisciplinary Desert Conference, United Kingdom・school of geography and the environment, university of Oxford	
89	<u>保井智香子</u>	運動部所属の女子中学 生における栄養素等摂取	2023年3月	日本健康体力栄養学会, 第30回日 本健康体力栄養学会, 神戸市長田	福田典子 他6名

		量と身体組成との関連		区・神戸常磐大学	
90	保井智香子	男子大学生における朝食摂取の有無と精神的健康との関連	2023年3月	日本健康体力栄養学会, 第30回日本健康体力栄養学会, 神戸市長田区・神戸常磐大学	石崎昌和 他2名
91	保井智香子	社員食堂における健康の保持増進のための食環境整備に関する検討	2023年3月	日本健康体力栄養学会, 第30回日本健康体力栄養学会, 神戸常磐大学・神戸市	前畑亜衣 他6名
92	保井智香子	中高年女性の LDL-C / HDL-C 比 と高感度 C-Reactive Protein 値との関連性	2023年3月	日本健康体力栄養学会, 第30回日本健康体力栄養学会, 神戸常磐大学・神戸市	高尾理樹夫 他2名
93	保井智香子	運動部所属の男子中学生における栄養素等摂取量と身体組成との関連	2023年3月	日本栄養改善学会, 第21回日本栄養改善学会近畿支部学術総会, 京都市伏見区・龍谷大学	福田典子 他6名
94	小川さやか	冒険を可能にする条件—商業と自前のセーフティネットの新たなつながりを求めて	2023年3月	関西外語大学, 公開シンポジウム「アフリカの冒険的現代—偶然化に託す希望のチカラ—」, 大阪府枚方市・関西外語大学	
95	小川さやか	Session 3: Reconfiguring family and the emergence of new forms	2023年3月	国際シンポジウム Family Potential in Uncertain Times, 特別研究「不確実性の時代における家族の潜勢力—モビリティ、テクノロジー、身体—」, 大阪府吹田市・国立民族学博物館	
96	保井智香子	「なにわの伝統野菜」の発祥地と認知度および喫食経験に関する研究	2023年3月	日本健康体力栄養学会, 第30回日本健康体力栄養学会, 神戸常磐大学・神戸市	高尾理樹夫 他2名

#### 4. 主催したシンポジウム・研究会等

No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	〇〇シンポジウム	衣笠キャンパス	2014年9月	100名	財団法人◇◇、××大学□□研究所
2	第3回〇〇研究会	キャンパスプラザ 京都	2014年11月	10名	なし

#### 5. その他研究活動(報道発表や講演会等)

No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	小川さやか	書評『ブルシットジョブの謎』酒井隆史著	読売新聞	2022年4月
2	小川さやか	書評『絡まり合う生命』奥野克己著	読売新聞	2022年4月
3	高橋学	石川県で頻発する地震は「北陸大地震」の予兆か? 専門家も“内陸直下型”を警戒	『日刊ゲンダイデジタル』	2022年4月
4	高橋学	巨大チェーン地震 MAP	『フラッシュ』, pp.76~77	2022年4月
5	高橋学	頻発する地震で高まる“大規模停電”のリスク 今月「4」以上8回、慢性的な電力危機 家庭でも自動車からの給電や蓄電池の準備を	『夕刊フジ』, p.3	2022年4月

6	高橋学	今年に入って37回の揺れ これは北陸大地震の予兆か	『日刊ゲンダイ』,p.5	2022年4月
7	高橋学	おはようパーソナリティ道場洋三です	朝日放送	2022年4月
8	高橋学	「巨大地震」がやってくる…いま北陸の地下で起きている「危ない異変」能登半島で、地震が多発している	週刊現代デジタル版	2022年4月
9	高橋学	マグニチュード9以上！超巨大海溝型地震が日本を襲う日 各地で地震が頻発中……それが意味する戦慄の未来	FRIDAY デジタル	2022年4月
10	内尾太一	長崎のギモン それ知っとつ？ モアイ像の謎	NHK 長崎『イブニング長崎』	2022年5月
11	小川さやか	書評『ANTHRO VISION 人類学的思考で見るビジネスと世界』ジリアン・テッド著	読売新聞	2022年5月
12	斎藤賢爾	ブロックチェーンは総合格闘技？分散ファイナンスの専門家に聞く学びの最前線	先端教育 2022年5月号, オンライン記事	2022年5月
13	高橋学	M9 関東大震災 南海地震の巨大連動災害がやってくる！	週刊現代,pp.141~143	2022年5月
14	高橋学	発生確率80% 日本人が備えるべき巨大地震完全地図	女性セブン,pp.46~52	2022年5月
15	高橋学	小麦高騰は序章に過ぎない…！史上最悪「食糧危機」が世界を襲う日 戦場と化した世界有数の穀倉地帯ウクライナ 史上最悪の「世界食糧危機」が飢餓と新たな紛争を生み出す	FRIDAY デジタル	2022年5月
16	高橋学	日本地震頻発 専門家稱進入地震活躍期	鳳凰衛視(香港) ニュースアワー	2022年5月
17	高橋学	京都、日向灘、鳥取県東部、能登半島…GWに相次ぐ地震は「南海トラフ」と関係している？	日刊ゲンダイデジタル	2022年5月
18	高橋学	『ニュース』	ソウル放送(韓国)『ニュース』	2022年5月
19	高橋学	M9の「巨大連動地震」が日本を襲うとき、「関東、東海、近畿、九州」は地獄絵図と化す	New ポストセブン	2022年5月
20	矢野健一	土偶めぐる新説 専門家は異論	神戸新聞ほか地方紙12紙(共同通信社配信)	2022年6月
21	小川さやか	<タイムカプセル> 文化人類学者・小川さやかさん(44)	中日新聞・電子版	2022年6月
22	小川さやか	<危機の時代を生きる> インタビュー 立命館大学 小川さやか教授	聖教新聞・電子版	2022年6月
23	小川さやか	書評『共有地をつくる わたしの「実践私有批判」』平川克美著	読売新聞	2022年6月
24	小川さやか	書評『リバタリアンが社会実験してみた町の話』マシュー・ホンゴルツ・ヘトリング著	読売新聞	2022年6月
25	高橋学	首都直下地震の被害 堤防損傷なら250万人が床上浸水、水が引くまで2週間の想定も	New ポストセブン	2022年6月
26	高橋学	おはようパーソナリティ道場洋三です	朝日放送	2022年6月
27	高橋学	ニュースアワー	鳳凰衛視(香港)	2022年6月
28	高橋学	熊本で震度5弱 首都圏もM8級3	夕刊フジ, p.3	2022年6月

		要因		
29	高橋学	首都直下地震の被害想定 ベイエリアでは液状化で「約 1500 棟が全壊	New ポストセブン	2022 年 6 月
30	高橋学	石川県を襲う地震は 1 年半で 140 回も…相次ぐ揺れに専門家も「しばらく続く」と警鐘	日刊ゲンダイデジタル	2022 年 6 月
31	高橋学	【巨大チェーン地震】本誌予言どおり！能登半島で起きた震度 6 弱、M5.4 の地震が南海トラフ大地震を引き起こす！	smart FLASH	2022 年 6 月
32	高橋学	能登半島の次は小笠原諸島で…父島近海M6.2 の揺れは南海トラフの予兆か？専門家に聞いた	日刊ゲンダイデジタル	2022 年 6 月
33	高橋学	ビートたけしのテレビタックル	テレビ朝日	2022 年 6 月
34	小川さやか	タンザニア商人に学ぶ人間はみな Living for Today	『Wedge』2022 年 6 月号, pp.26~29	2022 年 7 月
35	小川さやか	書評『アセンブリ 新たな民主主義の編成』アントニオ・ネグリ&マイケル・ハート著	読売新聞	2022 年 7 月
36	小川さやか	書評『大衆の狂気 ジェンダー・人種・アイデンティティ』ダグラス・マレー著	読売新聞	2022 年 7 月
37	高橋学	今この瞬間にも…日本を襲う「直下型 & アウターライズ地震」の恐怖 東日本大震災から 11 年 太平洋プレートの活発化 石川県能登地方での震度 6 弱、熊本県での震度 5 弱など頻発する大きな揺れ 南海トラフ地震より前に警戒すべきこと	FRIDAY デジタル	2022 年 7 月
38	高橋学	ウクライナ戦争で浮き彫りとなった「世界的穀物不足」の行方	FRIDAY デジタル	2022 年 7 月
39	高橋学	石川県地震 日本海で終わらない「スーパー南海地震の前兆	アサヒ芸能, p.161,	2022 年 7 月
40	高橋学	天王寺七名水をめぐる	アルキメトロ, pp.10~11,	2022 年 7 月
41	高橋学	桜島大噴火はまだ序章…間もなく「令和の関東大震災」がやってくる 専門家たちも警鐘を鳴らす	週刊現代デジタル版	2022 年 8 月
42	高橋学	ビートたけしのテレビタックル	テレビ朝日	2022 年 8 月
43	小川さやか, 奥那覇潤	全てが「ネット越し」の社会の落とし穴…コロナ対策を失敗させた「過剰可視化」の発想	yahoo ニュース	2022 年 8 月
44	山田圭太郎	「つなげ次世代へ「学ぼう！ふくいのお宝」⑤年縞の秘密を探る！	FBC 福井放送「朝だよ！ハピネスふくい」	2022 年 8 月
45	小川さやか	書評 特集『平常心を取り戻す(2)』デヴィッド・M・ラウブ著『大絶滅』	読売新聞	2022 年 8 月
46	小川さやか	書評『トリアスロンの哲学』ラファエル・ヴェルシェール著	読売新聞	2022 年 8 月
47	小川さやか	書評『創造性をデザインする』牧野智和著	読売新聞	2022 年 8 月
48	小川さやか	書評『遠い声をさがして 学校事故をめぐる<同行者>たちの記録』石井美保著	読売新聞	2022 年 8 月
49	中川毅	海に沈む古代洞窟コスケール	NHK BS『コズミックフロント』	2022 年 9 月

50	小川さやか	「小川さやか公開インタビュー『屋台と人類学』」	(トークイベント)小川さやか公開インタビュー『屋台と人類学』, 大阪市天王寺区・スタンダードブックストア	2022年10月
51	小川さやか	「今、何をすべきか。それが問題だ」	電通ジャパンネットワークアカデミー「DJN Academy」, 東京都目黒区・スタジオキューブ	2022年10月
52	小川さやか	「どう変わる? 2030年未来の消費～多様性とデータが作り出すパラドクス社会とは～」	NRI tv asahi INNOVATIVE ONLINE TALK SESSION, オンライン開催	2022年10月
53	小川さやか	「グローバル社会のダイバーシティ&インクルージョンを考える」	「グローバル社会のダイバーシティ&インクルージョンを考える」セミナー	2022年10月
54	小川さやか	「実践編 B:アーティスト創造演習— 装い/身体」	奈良県立大学実践型アートマネジメント人材育成プログラム「CHISOU」, 奈良市・DATSUEBA	2022年10月
55	小川さやか	書評 抜群のセンスが発揮された「語学探検記」高野秀行『語学の天才まで1億光年』	『新潮社フォーサイト』	2022年10月
56	小川さやか	「第396回 小川さやかさん 前編」	シコウヒン TV(オンライン番組)	2022年10月
57	小川さやか	「第396回 小川さやかさん 後編」	シコウヒン TV(オンライン番組)	2022年10月
58	小川さやか	「書評『石が書く』ロジェ・カイヨワ著」	読売新聞オンライン	2022年10月
59	小川さやか	「第4部トークセッション「生態系の視点からサステナブルファッションを考える」」	Conference for Sustainable Fashion「FASHION FOR THE PLANET」, 東京都渋谷区・渋谷パルコ	2022年11月
60	小川さやか	「チャンスの贈与—タンザニア商人たちの将来への備え方」	Kyoto あけぼのフェスティバル, 京都府伏見区・京都府総合見本市会館	2022年11月
61	小川さやか	「数値に換算できない経済—タンザニアの商人を事例に」	2022年度 世界と日本を考える真のリーダーを育成する 不識塾, 東京都千代田区・サビアタワー	2022年11月
62	後藤智	「中小企業のイノベーションを促進するデザイン態度の開発～実践と研究成果の共有【前編】」	中小企業支援・産業振興担当者様向けオンラインセミナー, オンライン開催	2022年11月
63	斎藤賢爾	「推し活と自律分散社会」	オンラインサロン Beyond Blockchain 第27回, 東京都中央区・ブロックチェーンハブ(オンライン)	2022年11月
64	斎藤賢爾	「アカデミーキャンプ VR: 能動的学びの体験としてのシリアスゲーム構築を例に」	InterBEE 2022「放送メディアのパラダイムシフト: 参加型デジタル空間による新たな価値・多様性の創生!!」, 千葉県美浜区・幕張メッセ	2022年11月
65	斎藤賢爾	「評判システムと自律分散社会」	オンラインサロン Beyond Blockchain 第28回, 東京都中央区・ブロックチェーンハブ(オンライン)	2022年11月
66	小川さやか	「書評『暴力のエスノグラフィー』ティモシー・パチラット著」	読売新聞オンライン	2022年11月
67	小川さやか	「書評『手数料と物流の経済全史』玉木俊明著」	読売新聞オンライン	2022年11月
68	小川さやか	「書評『光を灯す男たち』エマ・ストーンクス著 小川高義訳」	読売新聞オンライン	2022年11月
69	小川さやか	「講座: アングラ経済の人類学」	早稲田大学エクステンションセンタープログラム(全4回), オンライン開催	2022年11月～12月
70	鎌谷かおる	「献立から読み解く江戸時代の食」	企画展「大名の献立—文化2年壬生御献立帳—」, 栃木県壬生町・壬生町立歴史民俗資料館	2022年12月
71	小川さやか	「分断された商世界をつなぐ『ローカル・インフルエンサー』—タンザニアにおける商人のソーシャルメディアの利用とビジネスの未来」	国立民族学博物館友の会 第531回友の会講演会, 吹田市・国立民族学博物館	2022年12月
72	小川さやか	「もっとズルく、もっとアナーキーに。凝り固まったルールをほぐす人類学」	オンライン配信番組「どうで荘ゼミナール」, オンライン開催	2022年12月
73	小川さやか	「どうで荘ゼミナール」	オンライン開催	2022年12月

	か			
74	小川さやか	「書評『ネアンデルタール (原題) KINDRED』レベッカ・ウラッグ・サイクス著」	読売新聞オンライン	2022年12月
75	小川さやか	「書評『大いなる錯乱 気候変動と思考しえぬもの』(原題) The Great Derangement』アミタヴ・ゴーシュ著」	読売新聞オンライン	2022年12月
76	小川さやか	「書評 読書委員が選ぶ2022年の三冊」	読売新聞(朝刊)	2022年12月
77	小川さやか	「文化人類学に学ぶ観察力・内省力ー思い込みを手放し常識に囚われない発想をするスキル」	AEON リベラルアーツプログラム(全3回), オンライン開催	2022年12月~2023年2月
78	小川さやか	「立命館の文化人類学者「研究は何でもOK」の驚異 アフリカでは古着商にもなる大胆な調査を实践」	東洋経済 ONLINE	2022年12月
79	鎌谷かおる	「近江国の豆食文化」	くさつ・歴史発見塾⑤、草津市・街道交流館	2023年1月
80	小川さやか	「迂回路をさがす〜タンザニア商人の商実践から展望するアカデミズムの未来〜」	学芸ライブ, 京都市下京区・ザ・サウザンド京都	2023年1月
81	小川さやか	「小川さやか×岡本祐一郎「現代思想は欲望の資本主義に負けるのか」」	文藝春秋ウェビナー, オンライン開催	2023年1月
82	斎藤賢爾	「AI との対話」	オンラインサロン Beyond Blockchain 第29回, 東京都中央区・ブロックチェーンハブ(オンライン)	2023年1月
83	鎌谷かおる	「とんこつラーメンについての解説 (VTR 出演)」	NHK チコちゃんに叱られる!	2023年1月
84	宮脇昇	データベース「モンゴルという国」	アジアマップ, 茨木市・立命館アジア・日本研究所	2023年1月
85	小川さやか	「多様であることの力「一貫性の病」に陥る日本」	山陰中央新報	2023年1月
86	小川さやか	「1杯10円のコーヒーを奢り、奢られる。嗜好品が生む、タンザニアの“対等”な人間関係」	DIG THE TEA	2023年1月
87	山田圭太郎	「第3376回 年代測定の最前線ー放射線炭素年代測定と水月湖」	立命館土曜講座, オンライン開催	2023年2月
88	宮脇昇	「企業活動における地政学的リスク」	草津商工会議所火曜会, 草津市・草津商工会議所	2023年2月
89	小川さやか	「文化人類学的思考で考えるビジネス」	, NewSession, オンライン開催	2023年2月
90	小川さやか	「座談会「資本主義の未来」」	日本経済団体連合会セミナー, 東京都千代田区・経団連会館	2023年2月
91	小川さやか	「人類学者とフィールドワーク」	旅する大学@糸島企画,	2023年2月
92	斎藤賢爾	「人が人を使う世界の終わりの始まり」	オンラインサロン Beyond Blockchain 第30回, 東京都中央区・ブロックチェーンハブ(オンライン)	2023年2月
93	斎藤賢爾	「ブロックチェーン技術概論」	ブロックチェーンアカデミー, 東京都中央区・ブロックチェーンハブ(オンライン)	2023年2月
94	斎藤賢爾	「フィンテックと貨幣・金融の未来」	MBA Essentials ファイナンス, 東京都新宿区・早稲田大学	2023年2月
95	鎌谷かおる	「大津の菓子文化の豊かさを未来へつなぐ。立命館大学の「菓都大津再興プロジェクト」」	Sustainable Smart City Partner Program	2023年2月
96	高橋学	「歴史的建造物も街中の建物も次々と崩落…死傷者4万人超 トルコ南東部大地震「甚大被害の理由」」	『FRIDAY デジタル』	2023年2月

97	高橋学	「関西テレビ放送 報道番組 報道ランナー(TV 出演)」		2023年2月
98	宮脇昇	「ウクライナ侵攻はなぜ起きたのか」	オンライン書評会	2023年2月
99	小川さやか	「目利き48人が選ぶ2022年私のオススメ新書」	『中央公論』137巻3号	2023年2月
100	小川さやか	「鼎談4 インフォーマルな領域から立ち上がる居場所・ものづくり・社会」	LIXIL 建築・設計関連コラムまちづくり, オンラインコラム	2023年2月
101	玉井良尚	「制水権と市民生活ー水の軍事資源化が市民生活にどのような影響を与えるのかー」	日本技術士会衛生工学部会3月講演会, 東京都港区・機械振興会館	2023年3月
102	富田敬大	「越境する家畜、越境しない牧地利用ー社会主義モンゴルの牧畜開発と自然災害」	EES/UBRJ 生存戦略&実社会競争研究セミナー, 札幌市北区・北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター	2023年3月
103	小川さやか	「小川さやか×與那覇潤×山崎孝明 「人間について学問が語れることー人類学と精神分析と歴史学の交差点」	ゲンロンカフェ, 東京都品川区・株式会社ゲンロン	2023年3月

#### 6. 受賞学術賞

No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	玉井良尚	日本公共政策学会	2022年日本公共政策学会奨励賞	『制水権: 軍による水の資源化』	2022年6月
2	シン ジュヒ オン	公益財団法人科学技術融合振興財団	科学技術融合振興財団第10回 FOST 新人賞	「日本・韓国・台湾における「インパクトゲーム」に関する比較研究ー制作側のリアリティの再現を巡って」	2022年3月

#### 7. 科学研究費助成事業

No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	小川 さやか	アフリカ諸国における暗号通貨を利用した国際取引に関する人類学的研究	科学研究費補助金 [基盤研究 C]	2020	2024	分担
2	河角直美	歴史 GIS による京都の都市景観復原と地形の居住地選択への影響に関する研究	科学研究費補助金 [基盤研究 C]	2020	2023	代表
3	河角直美	「紀伊半島の海付集落を対象とする社会・空間・被災史デジタルアーカイブの構築と公開」	科学研究費補助金 [基盤研究 B]	2021	2025	分担
4	島田 伸敬	指使いの視触覚統合モデルによる柔軟物の加工作業ーハンド表面の分布荷重の統合ー	科学研究費補助金 [基盤研究 C]	2021	2023	代表
5	岩城卓二 (京都大学)、鎌谷かおる(分担)	石見銀山附幕領における銀山・銅山・鉄山ー非農業世界からみた「幕領社会」論の構築ー	科学研究費補助金 [基盤研究 B]	2021	2026	分担
6	高橋学 (代表)	環境史・土地開発史・災害史を基礎とした災害リスクマネージメント	科学研究費補助金 [基盤研究 B]	2022	2024	代表
7	長友朋子	初期国家形成期における山城地域の地域	科学研究費補助金 [基盤研究 B]	2022	2026	分担

	(代表)、 中村大(分 担)	開発と地方政体の成長に関する包括的研究				
8	宮脇昇(代 表)、玉井 良尚(分担)	国際・国内公共政策決定過程における沈黙 利用の分析	科学研究費補助金[基盤研究C]	2022	2025	代表、分 担
9	SAUCEDO SEGAMI Daniel Dante (代 表)	Modern Cities and Archaeology: A Study on the Revalorization of Archaeological Remains from a Cultural Heritage Perspective	科学研究費補助金[基盤研究C]	2022	2026	代表
10	増原直樹 (兵庫県立 大学)、鎌 谷かおる (分担)	“地域再生可能エネルギーに関する歴史・ 社会・経済の統合型研究”	科学研究費補助金[挑戦的研究(萌 芽)]	2022	2025	分担
11	富田敬大 (代表)	「社会主義モンゴルにおける牧畜の産業化 と自然災害に関する研究」	科学研究費補助金[基盤研究C]	2022	2024	代表
12	宮脇昇	「国際・国内公共政策過程における「沈黙」 利用の分析」	科学研究費補助金[基盤研究C]	2022	2024	代表
13	中村大	東北北部の縄文時代人口の推計および人 口変動と祭祀や墓制の変化との関連性分析	科学研究費補助金[基盤研究C]	2019	2023	代表
14	近藤宏	南米コロンビアの都市避難先住民から見る 「多文化主義」をめぐる人類学的研究	科学研究費補助金[若手研究]	2019	2023	代表
15	森下直紀	「アニシナベ先住民の食の同化政策をめぐ る生活環境史」	科学研究費補助金[基盤研究C]	2020	2023	代表
16	遠部慎	「山稜・山間に展開した弥生時代の人間活 動に関する実証的研究」	科学研究費補助金[基盤研究B]	2021	2025	分担
17	栗畑光博	「先史巨大噴火の生業への影響に関する動 物考古学的研究」	科学研究費補助金[基盤研究C]	2021	2025	分担
18	小野映介	「先史巨大噴火の生業への影響に関する動 物考古学的研究」	科学研究費補助金[基盤研究A]	2021	2025	分担

#### 8. 競争的資金等(科研費を除く)

No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	中川 毅, 山 田圭太郎	「農耕を成立させた気候の安定性:「肥沃な 三日月地帯」にもっとも近い地質学的記録」	二国間交流事業 共同研究	2022年4月	2024年3月	代表・分 担
2	矢野健一	「三内丸山遺跡における枝回転土器の調 査と土器製作季節の推定」	三内丸山遺跡特別研究	2022年4月	2023年3月	代表
3	内尾太一	「現代イースター島社会におけるラバ・ヌイ 文化の尊厳に関する民族誌的研究」	アジア・オセアニア研究助成	2022年4月	2023年3月	代表
4	坂本唯	「原発避難者の被災経験の記憶と想起— ものづくり実践を中心に」	特別研究奨励費	2022年4月	2025年3月	代表
5	シン ジュヒ ユン	「日本・韓国の歴史シリアスゲームにおける 「歴史」の絵描かれ方と倫理的問題」	公益財団法人上廣倫理財団研究助成	2022年4月	2027年3月	代表

#### 9. 知的財産権

No.	氏名	名称	出願人 区分	発明人 区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
-----	----	----	-----------	-----------	------	------	----------	---



1	立命太郎	特許(国内)	本人单独	筆頭発明者	****	****	****	日本
---	------	--------	------	-------	------	------	------	----